



令和3年3月11日(木) 第38号(最終号)



ありがとうございました！



8日(月)は全校集会の中で「3年生を送る会」がおこなわれました。1・2年生からは送ることをいただき、在校生全員のメッセージカードで《輝き続けろ！ Be ambitious!!》という文字がつけられました。例年より短縮した会になりましたが、実施できるかどうかもわからなかったことを考えると、「いろいろな人に支えられている」と感じるには十分だったのではないのでしょうか。

午後は、学年全員で楽しい時間を過ごしました。本当に、61期生に秘められている可能性の大きさを痛感させられました。きっとまだまだ“秘められているもの”は残っているのでしょうね。ぜひ高校生活で、その“秘められているもの”を外へ解放させてください。3年間の思い出をまとめたムービーは翌日に延期して上映しましたが、2日間あわせて笑い涙あふれる感動的な時間となりました。「61期生は《卒業》を大切に考えている」ということがわかり、心が温かくなりました。



卒業式という「式典」には、当然、大きな意義があります。9日(火)には、それも十分に説明して、何回か練習をしました。卒業式は正式には「卒業証書授与式」というぐらいで、メインは「卒業証書の授与」になります。担任の先生が卒業生の名前を読みあげ、それに応じて、起立し、力強い声で「はい！」と返事をする。簡単なことですが、これが意外と難しい。特に、大きな声で返事をするのが、緊張するやら恥ずかしいやら、なかなか苦戦しているようでした。でも、全体としては良い練習ができたと思っています。やはり、先生たちが声をかける度に動きが良くなっていきますね。中でも「いつまでも」の合唱は、練習とはわかっているものの、胸に響くものがありました。

キミは先生たちに「ありがとうございました」といってくれますが、この3年間、キミの頑張る姿に、先生たちの方が何度救われたことか。今だからいいですが、先生たちは毎日疲れ果てて家に帰り、翌朝も眠い目をこすりながら学校に来ています。でも、そんなとき、頭に思い浮かべることはキミが頑張る姿、喜ぶ姿です。そうやって自分に気合いを入れ、毎日を乗り越えていました。ずっと前から、いわば3年間、毎日“贈り物”をいただいていたようなものです。

お礼をいいたいの先生たちの方です。3年間、ありがとうございました！！



今から1週間後です！ 忘れずに見に行きましょう！

公立高校一般選抜合否発表 3月18日(木) 10:00 各高等学校にて

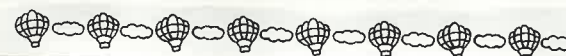
※合否がわかったら中学校に電話連絡すること！ 06-6531-7868



第61回 卒業証書授与式



名残^{なごり}は尽きませんが、とうとう明日3月12日(金)はキミたち61期生の卒業証書授与式(卒業式)です。これまでの3年間を思うと、いろいろなことがあり過ぎて、万感胸に迫り、なかなか言葉にできません。しかし、学年通信もいよいよこれで最後です。今はその寂しさをぐっと堪^こえて、明日の卒業式に向けて、先生たちの思いを、しっかりとキミに届けたいと思います。



中学校の卒業は《9年間の義務教育》が終わることを意味します。この点で、小学校の卒業式とは意味合いが大きく異なります。当然、保護者のみなさまの感慨も、ひときわ深く、大きいものとなります。キミがこの世に生を受けてから、義務教育を終える日まで、ご家族をはじめ、周りの人たちが、キミのことをどれほど大切に思い、慈^{いつく}しみ育ててくださったことか。卒業式を明日に控えた今、そのような、これまで自分を育ててくださった人々への感謝の気持ちを忘れてはいけません。どれだけ感謝の言葉を重ねても言い尽くすことはできないかな。言葉も大切だけど、その感謝の気持ちは、キミが大人になったとき、世の中に貢献できる人間になることでお返しをしてください。

また、3年間の中学校生活を共にした先生たちへの感謝の気持ちも、やはり忘れてほしくありません。61期生はとても和やかに学校生活を送ってきましたが、卒業間近でも注意や指導を受ける人がいました。多少の課題を残したまま卒業することになりますが、人間ですから、今は“未完成”でも構いません。ただ、明日の卒業式は、一回きりの“勝負”であり、もちろんやり直しはありません。卒業式は、キミたちの巣立ちの儀式です。ぜひ、内に秘めたる可能性を自ら解放する姿を見せてください。それでこそ、先生たちは、安心してキミの巣立ちを見送ることができます。その点、キミたちの練習風景を見ていると、《最高の卒業式》というのも決して美辞麗句では終わらないと思って期待をしています。本当に最後の学校行事、みんなのチカラで成功させましょう！！

個人の力は決して強くなくても、学年全員で協力して何かを成し遂げたときには、いつも期待以上の完成度だった61期生。3年間、人と人とのつながり、お互いの気持ちを大切にして、人間関係を育んできた61期生。明日はきっと、自分だけでなく、見る人すべての気持ちをも大切にしたい、61期生にしかできない、素晴らしい卒業式にしてくれると信じています。話しましたが、担任の先生による名前の読みあげは“最後のキャッチボール”です。1球もすっぽ抜けることなく、しっかりとキャッチされ、力強く返球されたときに生まれる一体感を、明日は、たくさんの方々に見届けていただきましょう。明日は、61期生らしい《最高の卒業式》になると心から信じています。

保護者のみなさまへ

最後になりましたが、この3年間、保護者のみなさまには、常にご理解とご協力をいただきまして、お蔭^{かげ}さまをもちまして、良い雰囲気の中、無事に61期生の卒業証書授与式を迎えることができました。至らぬ点も多々ございましたが、みなさまのご厚情にあらためて感謝申し上げます。

卒業生と保護者のみなさまのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたしております。



大嶋・三船・庄内・河合・堤・新井・石川・井上・北村・木村